



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2010, 94(5): 674-675

ISSUE DATE:

2010-08-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169347>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成22年8月5日発行(毎月1回5日発行)
物性研究 第94巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.94

no.5

物性研究

2010 / 8

1. 本誌は、主として物性分野の研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu **94** (2010), 1. のように引用して下さい。

[投稿要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 原則として著者が作成した原稿をそのまま印刷しますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 本文の版のサイズは、横 14 cm、縦 20.5 cm になります。A4 で原稿を作成する場合は、横 16 cm、縦 23.5 cm にしてください。縮小率は、約 88% ですので、活字や図の大きさの目安にして下さい。
 - 2) 第 1 ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 3) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 4) 上記は一応の目安ですので、体裁に多少の違いがあってもかまいません。
3. 本誌は白黒印刷ですので、カラーの図の使用は避けてください。黄色などの薄い色は印刷すると消えたり、色でデータを指定している場合は区別ができなくなります。はっきりした線を用いた、適度な大きさの鮮明な図を使用して下さい。
4. 他の出版物から図をそのまま引用する場合は、出版元への転載許諾が必要です。
5. 投稿は、片面印刷した原稿（ハードコピー）を郵送していただくか、原稿の PDF ファイルをメール添付等でお送りください。(1) ハードコピーの場合は、そのまま写真印刷しますので、必ず片面印刷をお願いします。(2) PDF の場合は、文字化けしないように、フォントを埋め込んだファイルにして下さい。なお、こちらで体裁を修正することがありますので、後日、編集可能なファイル（Tex や Word 等）をお願いすることがあります。
6. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50 部以上 10 部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。印刷後の別刷注文は不可能です。
7. 別刷代金、研究会報告の投稿要領、その他不明の点は、本誌ホームページをご覧ください。どうか、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

「物性研究」および「物性論研究」のアーカイブについて

本誌のアーカイブについて、最新の情報をお知らせします。

1. 科学技術振興機構の学術論文データベース Journal@rchive において、本誌の前身誌である「物性論研究」のアーカイブが公開されています。まだ一部未公開の号がありますが、今年度中には完成の予定です。どなたでも自由に無料で閲覧できます。
2. CiNii（国立情報学研究所 論文情報ナビゲータ）の「物性研究」創刊号からのアーカイブでは、発行後5年以内の号は有料でしたが、本年4月より、発行後2年経過した号は無料公開に変更になりました。
3. 「物性研究」のアーカイブは、CiNii 以外に、京都大学学術リポジトリ KURENAI でも公開されました。

論文 PDF の無料公開範囲が広がり、公開のサイトも増え、ますます便利になりましたので、ぜひご利用ください。URL は以下の通りです。

「物性研究」@ CiNii （1963 年 10 月～）

http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN0021948X_jp.html

「物性研究」@ KURENAI （1963 年 10 月～）

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/85407>

「物性論研究」@ Journal@rchive （1943 年 8 月～1957 年 3 月、一部未公開）

http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=busseiron1943

「物性論研究 2 集」@ Journal@rchive （1957 年 4 月～1963 年 8 月、一部未公開）

http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=busseiron1957

上記の全てのサイトに、本誌ホームページからリンクしています。

<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied>

物性研究刊行会

編集後記

この4月からある私立大学で2回生の微分・積分と3回生の量子力学演習を担当しています。この大学の物理学科の学生はほとんどが学部を卒業した後、就職することです。普段接する学生は大学院生なので、必要な勉強については、「(研究者になるための修行として必要だから)これこれを勉強しなさい」、と言えば済みます。しかし、学部を出て就職する学生たちにとっての意義は何でしょうか。該当科目の標準的な内容の習得を目標とすることは勿論ですが、この点についての立ち場を明らかにしておく必要があるように感じていました。ファインマンの「ファインマン流物理がわかるコツ」(ファインマン, ゴットリーブ, レイトン著; 戸田盛和, 川島協訳、岩波書店, 2007年)には、物理をやることは冒険をすることに似ているといった記述があります。(似たような言葉は、他の方も述べておられるかもしれません。)科学がこれほどまでに幅を利かせていなかった時代には、地理的な冒険が人々が発展していく上で必要な活動だったと考えられます。冒険で得た知識・経験によって活動範囲が広がり、できることも増えます。その一方で、人知の及ばない領域が減り、より自由になるという側面もあります。古代、旱魃が続くと巫女や王が身を焼いて雨乞いの儀式をしたのは極端な例ですが、未知の現象のからくりを理解していく活動は人類必須のものといえます。宇宙への冒険は残っていますが、地理的な冒険がひと段落して、人類は果てしない知の冒険にエネルギーを注いでいます。たとえ就職する学生であっても、人類の知の冒険の所産を学ぶことは決して無駄にはならないと思います。無限ともいえる広大な未知の領域に、どんな素晴らしい景色が潜んでいるか、それを見たいという衝動—研究者にとって、研究推進の大きな原動力になっているといえるでしょう。夏の暑さにまけず、紙に書いた数式を入り口として、今日も探索を続けたいと思います。

(meron)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

柳田 達雄 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
川口 由紀 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
柳瀬 陽一 (新潟大・理・物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)
水島 健 (岡大・理・物理)
栗津 暁紀 (広大・理・数理分子生命)
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 94 卷第 5 号 (平成 22 年 8 月号) 2010 年 8 月 5 日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 94-5 (8月号) 目 次

○講義ノート

「遍歴電子磁性とスピン揺らぎ理論」 531

○洗濯板ポテンシャル影響下での有限領域に於ける拡散過程 649

○掲示板

「物性研究」および「物性論研究」アーカイブについて 674

○編集後記 675